

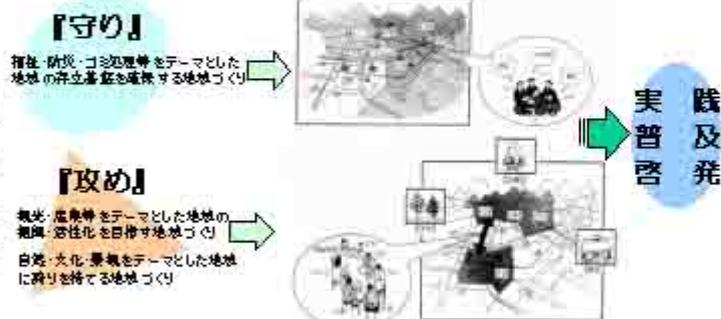
次世代の地域づくりのモデル的实践

1. 目的

新たな全総計画 (H10.3) の「参加と連携」の理念を普及・啓発し、その具現化を地域づくり活動の実践を通じ図る。

2. 実施内容

複数市町村の区域にまたがった地域で、官民双方が主体的に参加し、各地域が独自に選んだテーマをもとに、地域づくり活動を実施。地域の要請に応じ、国土交通省地方出先機関（地方整備局）が運営について支援。



3. 経緯

平成11年7～8月 各地方建設局（当時）を窓口として公募

平成11年9月24日 有識者からなる委員会にて実施地域決定（全国31地域）

○現地での意見交換会、検討委員会等の実施、インターネットホームページや意見交換用のメーリングリストを利用した実践地域間の情報交換等を通じ、各実践地域の地域づくりを支援。

平成13年10月 中間とりまとめ（「次世紀～」から「次世代～」へ名称変更）

平成13年11月 参加と連携の地域づくり5箇条公表

4. ポイント

①行政単位の枠を越えた広域的な地域連携

②役所任せではなく多様な人々・組織が参加

③その地域にしかない文化・資源を活かし、地域が主体となり、独自のアイデアで競争



(図：実践地域

「瀬戸内しまなみ大学」)

個性を活かした地域づくりの推進

各地域の個性的で魅力的な地域づくり等の活性化を推進するため、情報交流、アドバイザー派遣、団体活動の支援、地域の特徴ある資源を活用する構想策定の支援方策に係る調査といった地域づくりの段階・状況に応じた各種調査やモデル的支援を通じて、国・地方公共団体等の効果的な支援方策の検討及び周知・啓発等を図る。

(1) 地域振興アドバイザー派遣事業



ワークショップ（茨城県美浦村）



現地調査（石川県尾口村）

(2) 地域資源活用構想策定等調査



フォーラム（福井県勝山市）



シンポジウム（熊本県菊水町）

私たち一人ひとりの思いが、未来のふるさとを育みます。

【地域整備部門】

地域の個性や魅力を創出している社会資本を対象とし、良質な社会資本を「手づくり郷土賞」(地域整備部門)に認定します。

平成13年度は、20件が認定されました。

葛飾あらかわ水辺公園 ●東京都 葛飾区●

葛飾区では、区の将来を「水と緑豊かな熱れ合う住みよい街」と基本構想を定め、まちの財産である「河川」を活かした水と緑のまちづくりの推進を図っている。特に、奥田川においては、奥田川の自然環境と河川景観を活用し「生き物とふれあえる公園づくり」を進め、さらには「奥田川の遊歩道を取り戻し、河原の自然も回復させる」という基本構想に基づき、市民と区と区議会議員から議論を重ねながら、協力で本公園を計画し整備を行った。本公園の整備により、本公園地域の誇りとする気持が地域の中で育まれるとともに、ボランティア活動を通じて、身近な自然の保護の重要性やボランティアの意義が広く知られ、広がりがつつあるなど、大きな効果が認められている。



縄手通り ●長野県 松本市●

「縄手通りづくり事業」は、「河川事業とまちづくり事業とが連携した総合的河川整備」をコンセプトに実施しており、縄手通りの中心に建てられ西神社に囲まれている「藪いこむすびの陣」にあり、まちづくりのキーワードを「陣」として整備を進めている。日本陣内城址遺構や、武家屋敷遺構の復元、また歴史的事実に基づいた「武家陣の陣」を再現し、縄手通りのシンボルとするなど、国下町松本の歴史の遺構と一体となった歴史的なつながりのまちづくりがなされ、地域の人を引きつける、案内者から多くの観光客が訪れるようになり、地元ボランティア、商業などが自主的に清掃などに取り組むなど、地域の活動も活発化してきている。



鞋田城公園 ●埼玉県 富士見市●

鞋田公園は、埼玉県自然に制定される富士見市の代表的な遺跡の一つであり、古くは、この歴史の遺産を後世に伝えるとともに、市民の郷土学習や交流、憩いの場として活用するために整備を実施し、平成12年6月に「鞋田城公園」として開園した。

生涯学習及び市民参加推進の取組の一環として、地元ボランティア組織である市民学習員が積極的な活動を行っており、園内案内ガイド、企画展や、企画展のサポートなどを実施している。

鞋田公園公園を地域資源として活用するために市民有志の方々によって「鞋田城公園活用推進協議会」が組織され、公園利用の促進や交流の推進などに積極的な活動している。



「手づくり郷土賞」とは？

近年、地域の個性を活かし、なかでも、自然、歴史、文化や地域産業を貴重な固有の資源として再認識し、それらを積極的に活用することによって魅力ある地域づくりに成功している事例が多く見受けられます。

「手づくり郷土賞」は、それら地域の個性、魅力を創出している良質な社会資本や活動を広く募集、発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、社会資本整備にあたっての創意・工夫を促し、個性ある活力のある地域づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度です。

平成14年度(第17回)は、昨年度と同様に、【地域整備部門】と【地域活動部門】の2部門により、募集を行います。多数の応募を期待しております。

平成13年度「手づくり郷土賞」選定結果一覧表

【地域整備部門】

NO.	市町村	受賞者	受賞内容	地域	品名
1	北海道	美幌市	夕陽が丘ウイングファミリー・美幌産	道庁	美幌市
2	北海道	美幌市	夕陽が丘の陣	道庁	美幌市
3	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
4	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
5	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
6	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
7	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
8	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
9	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
10	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
11	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
12	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
13	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
14	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
15	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
16	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
17	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
18	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
19	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
20	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区

【地域活動部門】

NO.	市町村	受賞者	受賞内容	地域	品名
1	北海道	美幌市	夕陽が丘ウイングファミリー・美幌産	道庁	美幌市
2	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
3	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
4	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
5	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
6	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
7	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
8	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
9	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
10	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
11	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
12	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
13	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
14	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
15	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
16	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
17	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
18	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
19	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区
20	東京都	葛飾区	水と緑のまちづくり	国土	葛飾区

注：地域整備部門は、国土交通大臣表彰制度である国土交通大臣表彰制度に基づいて選定したものである。

【地域活動部門】

社会資本と関わりを持ちつつ、地域の個性、魅力、活力を創出している活動を対象とし、良質な活動を「手づくり郷土賞」(地域活動部門)に認定します。

平成13年度は、9件が認定されました。

表町の歴史づくり ●長野県 新井市 新井市●

職人町の面影を残す表町新井市では、地域住民のコミュニティの場、地域の貴重な文化遺産として残された保存されてきた「歴史」が、近年急速な建て替えなどにより、消失の危機に瀕しているため、地域住民、新井大学の学生、新井市とが協同で「歴史」の保存、再生を行うなど、「歴史を活かしたまちづくり」を行っている。



市民と学生とが、歴史のまちづくりについて協同でプランを練り上げたほか、実際に、保存状態となっている歴史について、ワークショップで勉強しており、このような活動を通じて、地域において、改めて「歴史」の重要性を認識するとともに、これを保存する意識が高まりつつあり、住民間交流や住民同士のネットワークの向上も図られている。

戸内しまなみ大学 ●岡山県 しまなみ地区連合地域振興協議会●

しまなみ海峡という、新たな交通ネットワークを活かした「交流と連携」のなかから生まれる、新たなまちづくりや地域産業の創出、文化の創造を目的とし、しまなみ海峡の周辺地域、新井市(しまなみ)の両市町村で構成する「戸内しまなみ海峡地区振興協議会」により、「戸内しまなみ大学」が創設された。「しまなみ大学」では、21市町村がそれぞれ分校となり、戸内しまなみ海峡にまたがる歴史・伝統文化や豊かな自然、生活風景など、「しまなみ」らしさをテーマにした学習を推進し、「体験しながら学ぶ」講座を開催している。この活動により、地域の魅力や誇りの再認識や、両市町村の絆を深めて、「しまなみ」を一体としてとらえていこうという意識が生まれ、こうした意識や自信が将来に向けての原動力のなりうるかと考えられる。



飛森谷戸の自然を守る会 ●岡山県 飛森谷戸の自然を守る会●

「飛森谷戸の自然を守る会」は、住民参加の「まちづくり」の中で地域の資源を保全し、歴史的に保護の必要活動を実施したもので、自然環境の学習の場として飛森谷戸の自然と、よりよい自然と生活環境とが共存する地域コミュニティを創出することを目的に平成13年度より活動している。また、地域に伝承の文化を継承し、自分たちで何が出来るのかを考え、行動と一緒に活動するパートナーシップにより、ボランティアの参加や河川の清掃、自然観察会を実施するなど自然環境を保護し、育てている。活動資金も行政からの補助を受けずに地域でみんなで自己調達する一方で、行動の事業や他の市民活動にも積極的に参加し、地域がまちづくりに貢献している。



活動資金も行政からの補助を受けずに地域でみんなで自己調達する一方で、行動の事業や他の市民活動にも積極的に参加し、地域がまちづくりに貢献している。